

Terry Fox Run in Shikaoi

みんなのランが
がん研究の
発展に繋がる！
for cancer research

2025年

9月20日(土)開催

参加無料！事前申し込み不要！

集合場所：ピュアモルトクラブハウス

FINISH

10:00 受付開始

※荒天以外開催

10:30

ラン／ウォーク開始

クラブハウス、パークゴルフ場周辺コース

13:00 終了

誰でも参加可能です。

歩いても、走っても、
その場にいるだけでもOK!

会場では、
チャリティーグッズ販売
カナダのお菓子や食べ物販売
高校生のカナダ留学展
等が予定されています。
売上の一部はがん研究の推進の
ため、テリーフォックス財団に
寄付されます。

Photo of Terry Fox by Gail Harvey

主催：Terry Fox Run in Shikaoi 実行委員会

後援：北海道カナダ協会、北海道テリーフォックス・ラン実行委員会

Terry Fox Run とは



Terryは1958年7月28日、マニトバ州ウィニペグで生まれ、バンクーバー近郊のポートコキットラムで育ちました。大学進学後、バスケットボール部で活躍していましたが、1977年骨肉腫であることが判明し、右足を切断することとなりました。闘病中、自分の未来に思い悩むなか、自分より小さな子供たちが懸命にガンと戦う姿に触れ、彼はガン研究資金を募るためのマラソンを思いつき、たった一人、1980年4月12日ニューファウンドランド州のセント・ジョンズから「希望のマラソン」(Marathon of Hope)の挑戦を始めました。

そして、カナダを横断して8000km先にあるバンクーバー島ポートレンフリーューを目指し、義足をつけて毎日フルマラソンと同じ42kmを走り続けます。

目標は完走と100万ドルの募金を集めることでした。

最初こそ反応は薄かったものの、口伝えやメディアで彼の活動を知った国民は感動し、一緒に走る子供や車椅子の人々、道路脇で彼に応援の募金を渡す人たちの輪が徐々に徐々に広がっていきました。

しかし、143日目の5373kmを走ったところで、ガンが肺へと転移したためマラソンを断念し再入院する決断をしました。

1981年6月28日、23回目の誕生日を1カ月後に控えた22歳の若さでこの世を去りました。



彼の死のニュースはカナダ全土に瞬く間に広がり、その年の9月に彼の遺志を継いだがん研究資金を募るチャリティイベント「Terry Fox Run」が開始され、以後40年以上を経た今も世界中で毎年開催されています。Terryは2004年にカナダ放送協会が実施した「偉大なカナダ人」の調査でトミー・ダグラスに次いで2位に選ばれています。2005年、挑戦25周年記念1ドル硬貨がカナダ政府で発行され、2025年にはカナダの新5ドル札の肖像に彼の姿が採用されました。



カナダと関係の深い鹿追町で、このランを実現させようと有志で実行委員会を作り2023年に初めて開催、今年で3回目となります。ぜひ多くの人の方のご賛同、ご参加をお待ちしております。

Terry Fox Run in Shikaoi 実行委員会（鹿追高校有志一同）